

無セキツイ動物の特徴

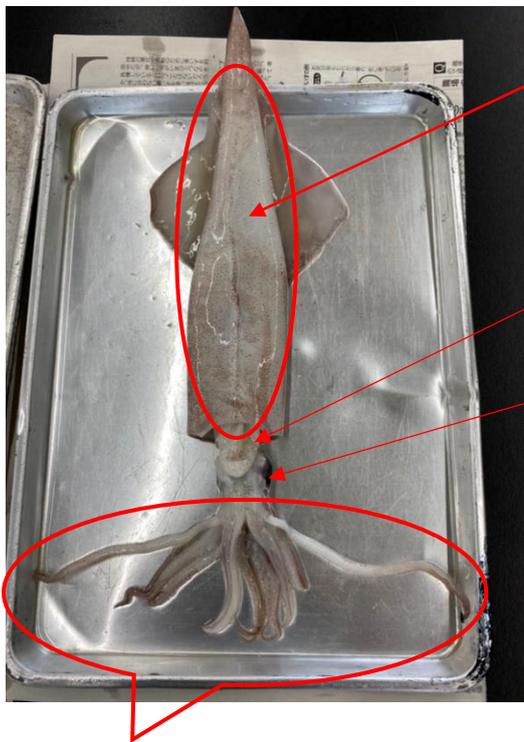
教科書 p 130~131

私たち、ヒトのように、背骨のある動物を**セキツイ動物**と呼ぶのに対して、背骨のない動物を**無セキツイ動物**と呼びます。

今回は、軟体動物の仲間にある、イカのからだのつくりを観察し、無セキツイ動物のからだの特徴を見ていきましょう。

① 今回は、スルメイカのからだのつくりを見ていきましょう。

イカにも、腹と背中があり、水をはきだす、**ろうと**がある側が腹側になります。



外とう膜（内臓を守る役割をしています）

ろうと

目

腕は、全部で10本あります。
外側にのびる長い2本は触腕と呼ばれます。



口は、このように腕の奥にあります。
ここから食べ物を取り込んでいます。



ろうとを拡大したものです。
ここから水をはきだして水の中を進みます。

② では、実際に解剖していきましょう。



外とう膜に縦にはさみを入れて開くと内臓がみられます。



内臓を手ではがしていきます。

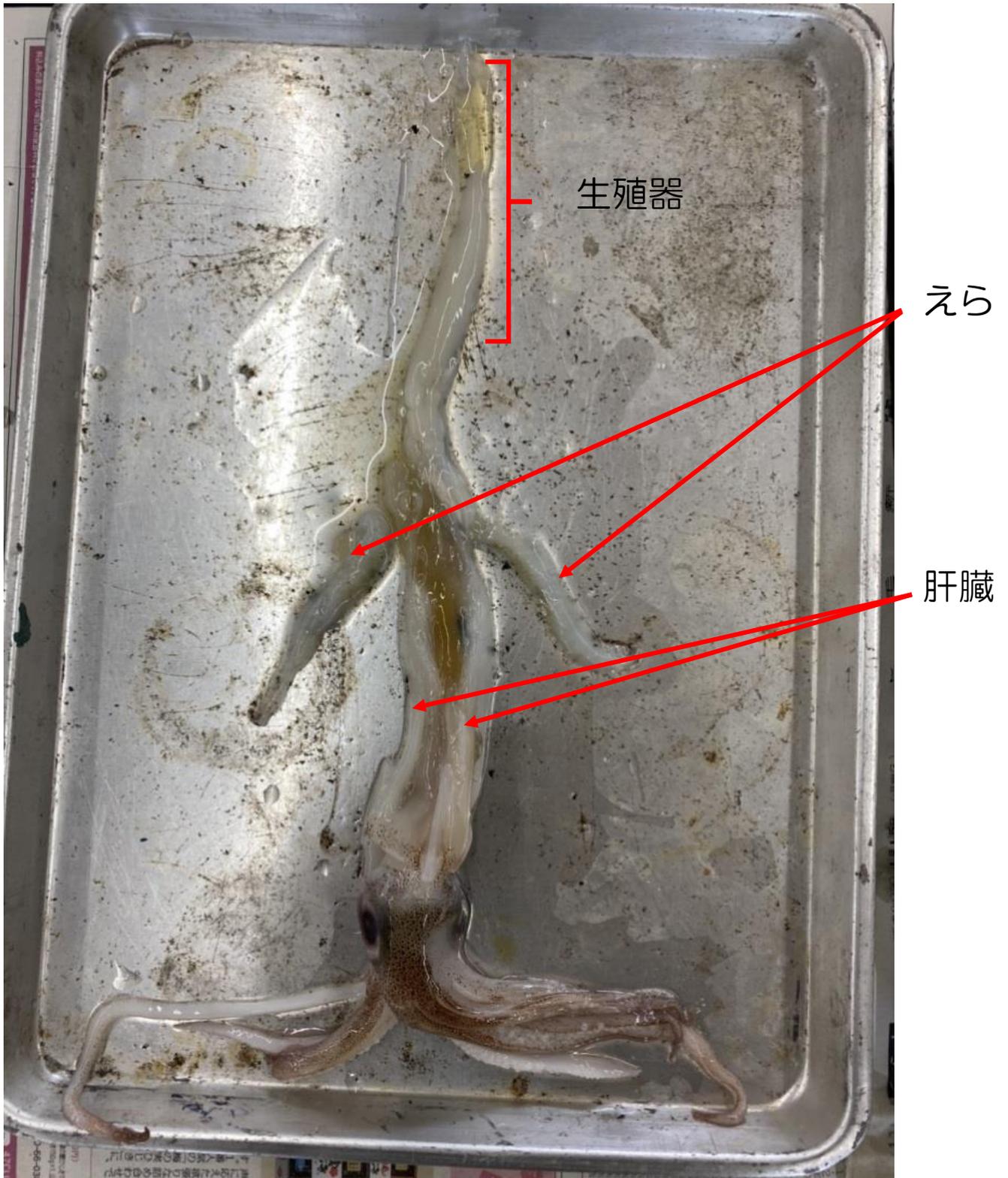


内臓をはがすと外とう膜だけになります。



外とう膜の中心には透明の長い背骨のような軟骨があります。これは貝殻を持っていたなごりであって、背骨ではありません。

③ 内臓のようすをみていきましょう。



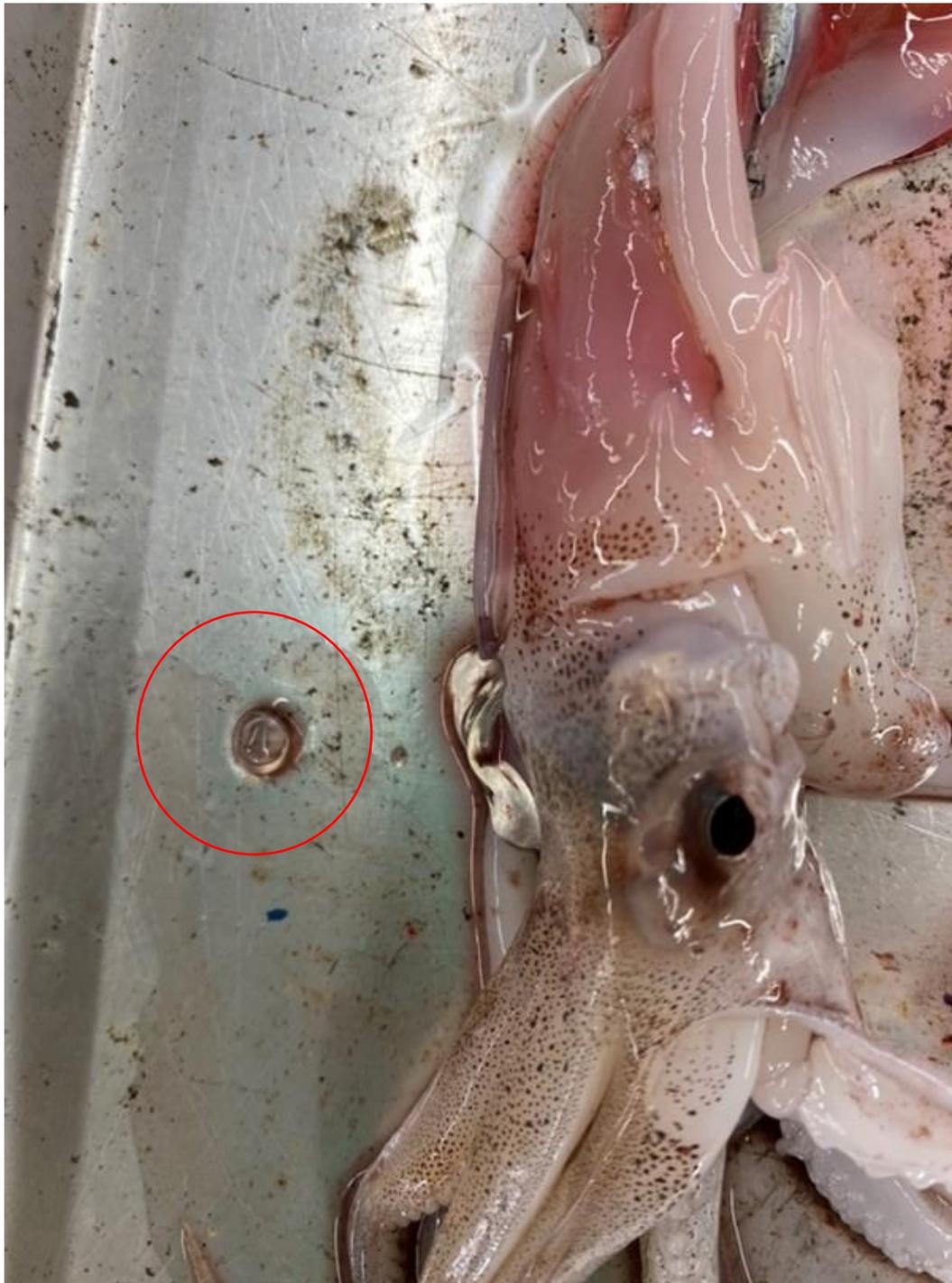
- ④ 口には、かたい顎があるので取り出して観察してみましょう。
顎はカラスとトンビのくちばしに形が似ていることから『カラストンビ』とも呼ばれています。



- ⑤ 次に食紅液をピペットで口から入れていきます。
食紅液の通りを見ることで、腸と胃の位置が分かるようになります。



⑥ 目を見ていきましょう。



眼球を取り出し、中身を取り出すとレンズを見ることができます。
新聞などの上に置くと、少し字が大きく見えます。

軟体動物の特徴は、からだとあしに節がありません。また、内臓は外とう膜でおおわれている点もセキツイ動物と異なる点です。また、ほとんどがえら呼吸を行います。
軟体動物には、イカのほかに、タコやナメクジ、ハマグリなども属します。

⑦ イカのスミで字が書ける！？



内臓の中心あたりには、スミを貯める袋があります。
見つけれたら中を開いてみてください。
指につけて紙やノートに文字を書いてみると、書道のようにしっかり書けますよ♪

今回は簡単に解剖・観察のポイントをのせました。
自宅でもできますので、是非チャレンジしてみてくださいね！